

科学がニセ科学に変わるとき

■講師■ 立命館大学国際平和ミュージアム館長 **安齋育郎** 氏

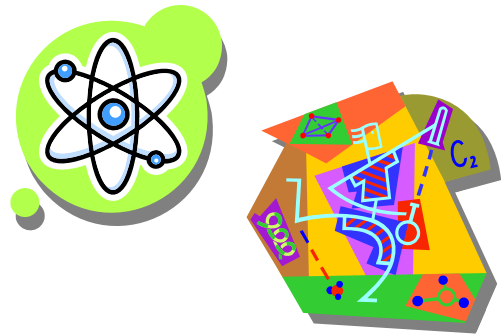
■略歴■ 1940年東京に生まれる。東京大学工学部原子力工学科を卒業後、大学院修士および博士課程で放射線健康管理学を専攻。工学博士。

東京大学医学部放射線健康管理学教室助手、中央大学商学部兼任講師、東京医科大学病院管理学教室客員助教授などを経て、1986年、立命館大学経済学部教授、1988年より立命館大学国際関係学部教授、現在に至る。



■著書■

- 『だます心だまされる心』岩波書店 2005
- 『科学と非科学の間』ちくま文庫 2002
- 『霊はあるか—科学の視点から』BULE BACKS 2002
- 『「超能力」授業入門』かもがわ出版 1998,
- 『ビジュアルブック語り伝える沖縄』新日本出版社 2007
- 『「だまし」の心理学』PHP研究所 2007 など多数



血液型性格分類、納豆ダイエット、マイナスイオン、アルカリイオン水、ゲーム脳、コラーゲン、超能力、錬金術などなど。身近にあふれるさまざまな科学に関連した情報には、科学的に証明されたもの、科学に見せかけたもの、科学的だと信じているものなどがあります。その中の1つに、見かけは科学のようでも、実は科学でないものがあります。これを「ニセ科学」と呼びます。

そのとき「科学的だ」と信じていても、熱が冷めれば「ニセ科学」に変わってしまう。「ニセ科学」は どうして、いつの世でも人に受け入れられるのでしょうか。私たちは、このような情報に踊らされないために、どうすればよいのでしょうか。科学とは一体何かを一緒に考えてみましょう。

[日時] 5月26日(土) 13:30~16:30頃
[対象] 希望する生徒、保護者、教職員、その他
[会場] 本校 多目的ホール

切り取り

参加申し込み書(〆切5月18日) 担任または理科の教師へ提出
2007年度SSHサイエンス基礎講座1への参加を申し込みます。

年 組 番 生徒氏名 参加する保護者 名